

新年を迎えて

理事長(鹿児島県知事)

三反園

訓



謹んで

新年のお慶びを

申し上げます。



会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

経済の急速なグローバル化や本格的な人口減少、地域間競争の激化など、我が国が多くの課題に直面する中、当協会においては、県や関係団体等と連携して、本県特産品の販路拡大や開発支援に取り組んでおります。

昨年は、明治維新150周年という節目の年であり、多くの方々に鹿児島県にお越しいただきしております。この機会に合わせ、県内では関連

商品が数多く生み出され、観光振興・特産品販売でも、盛り上がりを見せた一年となりました。

今年には鹿児島県を含む南部九州4県でのインターハイ「感動は無限度南部九州総体2019」の開催、来年は「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の開催など、今後も鹿児島県を舞台とした大きなイベントが控えております。

このような中、地域経済の一翼を担う産業として、特産品の振興に向け、更なる取組を加速させていく必要があります。

鹿児島県には、多彩な農林水産物を活用した加工食品や、豊かな自然や伝統の技から生み出される特色ある工芸・生活用品など、世界へ誇れる特産品が豊富にあります。

これからも皆様と一体となって、本県特産品のブランド力を高めるため戦略的な販売強化に取り組み、「元気の出る鹿児島づくり」を目指してまいりますので、会員の皆様には、より一層の御支援・御協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを心から祈念申し上げます。

**薩長土肥・特産品連合会
佐賀玉屋「薩長土肥大物産展」
を開催**

今回、薩長土肥4県の歴史や風土を活かした特産品を一堂に集め、佐賀玉屋にて「薩長土肥大物産展」(10/3~10/8)を開催しました。特に今回は、佐賀県の山口知事を表敬訪問し、各県PRレディ合同で特産品紹介を行いました。

来場者からは、「1つの物産展で4県の食と工芸が楽しめた」「知らないものも多く見応えがあった」などの感想をいただきました。その他に「今、大河ドラマを観ている。今度、鹿児島に旅行で行こう」と思っている」などの声があり、鹿児島への注目度の高さが感じられました。

